第10講　ぬ・ねの識別

PART1　ぬ・ねの識別（基本編）

★「識別」とは？

認**識**して区**別**する。見分けること。

（例）

勉強す**なり**。

勉強する**なり**。

「ぬ・ね」の識別

【識別対象】

1 「　」の助動詞「ず」
2 「　」「　」の助動詞「ぬ」
3 ナ変動詞「　・　」の活用語尾
4 ナ行下二段動詞「**寝**(ぬ)」の一部

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	ず							特殊型
		ざら	ざり	○	ざる	ざれ	ざれ	ざ＋ラ変型
形	ぬ							型

3 **ナ変動詞**の活用語尾

ね　ぬ ＋

（例） 雪のうへまで往**ぬ**べくは…

4 ナ行下二段動詞「**寝**（ぬ）」の一部➡「　　　」と訳せる

（例） 一人**ぬ**る夜、…

〔例題〕 次の現代語訳は？

風吹きぬ。

★〈「打消」と「完了」の見分け方〉その①

「　　」（＝接続）確認

1 **未然**形＋ **ね　ぬ** ＝「　　　」

（例）深くはあら**ね**ど、…

2 **連用**形＋ **ね　ぬ** ＝「　　　」

（例）日暮れになり**ぬ**。

問一　次の傍線部の文法上の意味をそれぞれ答えよ。

①　時知らぬ山は…

②　駿河の国に至りぬ。

③　めづらしからぬ事のままに…

④　ことに思はねど、行けば…

⑤　とみなることにて、とどめはべりぬ。

⑥　もとの御かたちとなり給ひね。

⑦　我が心とせぬことにてはあれど、…

問二　「老い心地に惑ひたまひぬ。」の傍線部の文法上の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　完了　　イ　打消　　ウ　断定　　エ　存在　　オ　過去

問三　傍線部の説明として最も適当と思われるものを、次の中から選べ。

「今は帰りね」といひければ、帰りにけり。

ア　助動詞「ず」の已然形　　イ　助動詞「ず」の命令形

ウ　終助詞　　エ　助動詞「ぬ」の已然形

オ　助動詞「ぬ」の命令形

問四　「あしかりぬべし」の文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　「あしかり」は形容詞、「ぬ」は完了の助動詞、「べし」は推量の助動詞である。

イ　「あしかり」は形容詞、「ぬ」は打消の助動詞、「べし」は推量の助動詞である。

ウ　「あしかり」は形容詞、「ぬ」は伝聞推定の助動詞、「べし」は推量の助動詞である。

エ　「あし」は形容詞、「かり」は動詞、「ぬ」は断定の助動詞、「べし」は推量の助動詞である。

オ　「あし」は形容詞、「かり」は動詞、「ぬ」は打消の助動詞、「べし」は推量の助動詞である。

第10講　PART1　確認問題

① 傍線部ａ・ｂの文法的説明の組み合わせとして最も適切なものを、次の中から選べ。

「枕引きよせて ねたるに、…」
「おのが行かまほしき所へ い ぬ」

（ａ：ね　ｂ：ぬ）

ア　ａ　ナ変動詞の活用語尾　　ｂ　打消の助動詞
イ　ａ　完了の助動詞　　ｂ　ナ行下二段活用動詞「寝」
ウ　ａ　打消の助動詞　　ｂ　完了の助動詞
エ　ａ　ナ行下二段活用動詞「寝」　　ｂ　ナ変動詞の活用語尾

② 文は、「おのれ死に侍りぬとも、…」の「ぬ」の識別について説明したものである。空欄ａ・ｂに当てはまる語の組み合わせとして最も適切なものを、次の中から選べ。

直前の語が「侍り」でラ行変格活用の［ａ］形、もしくは直後が「とも」で上にも係助詞がないことから終止形の「ぬ」。よって、［ｂ］の助動詞である。

ア　ａ　未然　ｂ　過去　　イ　ａ　未然　ｂ　断定　　ウ　ａ　連用　ｂ　完了　　エ　ａ　連用　ｂ　打消

③ 「心にかなはぬことあらば、…」の傍線部の動詞の活用の種類・活用形の組み合わせとして最も適切なものを、次の中から選べ。

ア ハ行四段活用・未然形　イ ハ行四段活用・已然形

ウ ハ行上二段活用・連用形　エ ハ行上二段活用・連体形

④ 「はや馬ゐて参りね」の傍線部の文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア 助動詞「ぬ」の已然形　イ 助動詞「ず」の已然形　ウ 助動詞「ぬ」の命令形　エ 終助詞

⑤ ア～エの傍線部「ぬ」はいずれも助動詞である。一つだけ種類の異なるものを、次の中から選べ。

ア よからぬことどもうち続きて、…

イ 筆をさし置きぬ。

ウ まだ何事も語らはぬにかへりにけり。

エ な歩きそとやはのたまはぬ。

第10講　PART1　解答

〔例題〕 風が吹いた。

問一　① 打消　② 完了　③ 打消　④ 打消
　　　⑤ 完了　⑥ 完了　⑦ 打消

問二　ア

問三　オ

問四　ア

第10講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① a「ねたる」＝「寝た」。「寝る」と訳せる「ね」なので、ナ行下二段活用動詞。b「往ぬ」の一部分なので、ナ変動詞の活用語尾。よって、エが正解。

② aラ行変格活用動詞「侍り」の活用語尾は「ら・り・り・る・れ・れ」と活用する。文末ではないので、「侍り」は連用形。bは連用形に接続するのは、完了の助動詞「ぬ」。よって、ウが正解。

③ 「かなふ」は活用語尾が「は・ひ・ふ・ふ・へ・へ」と活用するハ行四段活用動詞。「ぬ」＝打消の助動詞「ず」の連体形。助動詞「ず」の接続は未然形なので、「かなは」は未然形。よって、正解はア。

④ 文末で、上に係助詞や疑問副詞がないので、終止形か命令形。直前が「参り」でラ行四段活用の連用形であることから、傍線部は完了の助動詞「ぬ」の命令形。よって、正解はウ。

⑤ 形容詞「よし」の未然形、ハ行四段活用「語らふ」の未然形、ハ行四段活用「のたまふ」の未然形に接続しているので、ア・ウ・エの「ぬ」は打消。カ行四段活用「置く」の連用形に接続しているので、イの「ぬ」は完了。よって、イが正解。

〔解答〕

①　エ
②　ウ
③　ア
④　ウ
⑤　イ